

製品名: MALT1 (7A3) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13606**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	92kDa

抗原情報

遺伝子名	MALT1
別名	Malt1; MLT1; Mucosa associated lymphoid tissue lymphoma translocation gene 1; Paracaspase;
遺伝子 ID	10892.0
SwissProt ID	Q9UDY8
免疫原	ヒト MALT1 の合成ペプチド

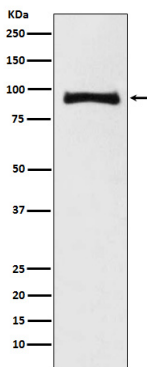
背景

BCL10 誘導性 NF- κ B 活性化を促進します。BCL10 の核外輸送に関与します。TRAF6 に結合し、TRAF6 のオリゴマー形成とリガーゼ活性の活性化を引き起こします。ユビキチンリガーゼ活性を有します。MALT1 依存性 BCL10 切断は、T 細胞抗原受容体誘導性インテグリン接着において重要な役割を果たします。BCL10 誘導性活性化を促進するプロテアーゼは、CARD ドメイン含有タンパク質 (CARD9、CARD11、CARD14) の下流で適応免疫および自然免疫シグナル伝達を誘導する CBM 複合体の形成を介して作用し、炎症性サイトカインおよびケモカインをコードする遺伝子の発現を刺激する NF- κ B および MAP キナーゼ p38 経路を活性化します (PubMed:11262391、PubMed:18264101、PubMed:24074955)。BCL10 切断を媒介する：MALT1 依存性の BCL10 切断は、T 細胞抗原受容体誘導性インテグリン接着において重要な役割を果たします (PubMed:11262391、PubMed:18264101)。T ヘルパー 17 細胞 (Th17) の分化誘導にも関与します (PubMed:11262391、PubMed:18264101)。T 細胞受容体 (TCR) 刺激にตอบสนองして RC3H1 と ZC3H12A を切断し、協調的に抑制されていた標的を放出することで Th17 細胞の分化を促進します (類似性による)。また、TCR を介した活性化に続いて T 細胞内の N4BP1 を切断し、N4BP1 の不活性化をもたらします (PubMed:31133753)。ユビキチンリガーゼ活性も有する可能性があり、TRAF6 に結合して TRAF6 オリゴマー化を誘導し、リガーゼ活性を活性化します (PubMed:14695475)。

研究分野

T 細胞受容体;B 細胞抗原;

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の MALT1 発現のウェスタン プロット分析。